

# 消 防 訓 練

時間経過		消火班	避難誘導班	放送・通報班
	自動火災報知設備動作	放送の指示により自動火災報知設備の発報場所へ消火器を持って出火の有無を確認に行く。	放送の指示により来客等の人員整理を行う。	「只今自動火災報知設備が作動しました。確認していますので次の放送までそのまま待機してください。消火班は〇〇階〇〇付近を確認してください。」と放送する。
	放送の指示により行動する	出火の有無に係らず放送・通報班へ連絡を入れる。出火している場合は正確な出火場所及びケガ人の有無を放送・通報班へ連絡し、初期消火を行う。屋内外消火栓設備が設置してある場合は有効に活用する。	各階担当者は放送により指示された側の階段へ誘導する。	消火班の連絡により「〇〇階〇〇で火災が発生しました。慌てずに係員の指示に従って〇〇側階段から避難してください。」と放送する。放送と同時に消防署（119番）へ通報する。 ※建物の住所、名称、出火場所、ケガ人の有無等
	避難開始	消火できたか、できなかったかを、また燃え広がっている場合はその状況を放送・通報班へ連絡し避難を開始する。	各階の避難が完了した時点で各階担当者は1階担当者へ各階の避難状況を報告し避難する。	消火班の連絡により、消防署（119番）へ再度通報し避難を開始する。 ※消火班の連絡してきた状況を伝える。
	報告	避難場所にて人員の確認を行い、責任者へ報告する。 責任者は到着した消防隊に現段階の状況を詳しく報告すること。	避難場所にて人員の確認を行い、責任者へ報告する。	避難場所にて人員の確認を行い、責任者へ報告する。

※ 各班が別々に行動するのではなく、密に連絡を取り合うことが被害を最小限にとどめる。